

おとずれ

2021年10月470号

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田 3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/>

荒れ野の 10 余年

千葉俊一神父

わたしたちは未だコロナウイルスの禍中にあります。少なからぬ医療従事者たちは完全な収束まで約 10 年を見えています。ウイルスの発生原因はいくつか考えることもできそうですが、やはり開発・生産・消費に血道をあげてきた人間による地球環境の破壊、特に際限を知らぬ森林伐採によってそこに生息していたウイルスが人間の生活圏に移ってきたことを第一と考えるべきでしょう。つまり人間は他でもない自分の罪の結果に苦しんでいるのです。この罪を認め真に回心しなければ、たとえ COVID-19 を乗り越えたとしても、次々に現れる新ウイルスによって人間は苦しみ続けることとなります。パンデミックとなって以後巷でよく口にされる「コロナとの闘い」とは、わたしたち人間の内なる悪、すなわち欲望との闘いを意味するはずです。

わたしたちはどこに向かっていこうとしているのか。わたしたちは単純にコロナ以前の生活に戻りたがっているのか。わたしがそれを考えるときイメージとして浮かんでくるのが、旧約聖書に描かれているイスラエルの民の荒れ野の旅なのです。エジプトにおいて奴隷状態に苦しむイスラエルの民は、モーセに導かれて脱出し、約束の地を目指して 40 年の旅を続けます。この旅はイスラエルが真に神の民となるための浄化の期間でありました。わたしたちは「もっと多く、もっと速く、

もっと快適に」という欲望の奴隷状態としての「エジプト」を抜け出し、^{ケアリング シェアリング} 支え合いと分かち合いによる全てのいのちの共生が実現する「約束の地」を目指して旅をしなければなりません。

しかしそれは容易ではないでしょう。旅の間、イスラエルの民は神とモーセに反抗し続けます。彼らは自分たちが奴隷であったエジプトを、肉やパンや魚がふんだんに食べられたからと恋しがり、旅の不安から金の雄牛の銅像を造り神としてあがめ踊り狂います。「飽食」と「感動」に惑わされ真の救いを拒む愚劣な民にモーセは怒り、悩み、苦しみます。最終的にイスラエルの民は約束の地に到達しますが、しかしモーセ自身は荒れ野における指導者としての不手際を神から問われて、約束の地に入れないまま世を去るのです。

わたしたちの荒れ野の旅を導くのはモーセではなく、死んで復活したいのちの与え主イエス・キリストです。主はともにおられる神として、どのようなときにもわたしたちに寄り添ってください。荒れ野の 10 余年の旅を経てわたしたちは「約束の地」に到達できるのでしょうか。世界と歴史を統べる神の愛は人間の愚かさをはるかに圧倒するとわたしは信じています。

9月19日

敬老会

栗原今朝夫

「敬老の日」、「老人の日」についてふれてみます。一般的に「敬老の日」という言葉は聞きなれているが、「老人の日」はあまり耳にしない言葉です。

この敬老の日、老人の日はそれぞれ法律上位置づけられています。まず、老人の日については、1963年（昭和38年）に施行された「老人福祉法」第5条に、老人の日、及び老人週間のことが明文されています。「国民の間に広く老人の福祉についての関心と、理解を深めると共に・・・」とし、9月15日を老人の日とするとともに、9月15日～21日の間を老人週間とする、としています。

歴史的には、1951年（昭和26年）に全国社会福祉協議会が提唱して、「としよりの日」が実施されたが、老人福祉法の制定によって「老人の日」が明文化され、その後、「国民の祝日に関する法律」（昭和23年制定）の改正で「敬老の日」が法に設けられ国民祝日となったが老人福祉法上は老人の日として現在においても第5条に位置づけられています。

次に「敬老の日」については、先に述べた「国民の祝日に関する法律」で、「多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し長寿を祝う・・・」としている。

老人の日は社会啓発的なことを、敬老の日は長寿のお祝いなどを趣旨としています。

なお、敬老の日は、いわゆるハッピーマンデーによって9月15日が9月第3月曜日に移動した。

教会での敬老のお祝いについては、教会報「おとずれ」発行の初期1981年（昭和56年）の記事によると、チェリッザ神父様が主任司祭の頃、敬老の日のミサの後5人が出席し茶話会をした、とあります。

その翌年はミサの後30名の出席と記録されています。盛大な祝い会であったことがうかがわれます。記録として残るその後の40年。毎年敬老ミサ、祝い会が行われているが、昨年のご存知コロナ禍でお祝い会は中止、お祝い品をミサ中に頂きました。今年も昨年同様、祝い会は中止、ミサ、そしてお祝い品を頂くことになります。本年対象者は40名（75歳上、信徒25名、シスター方12名、歴代司祭3名）です。



夢、記憶、祈り

(2021年7月25日祖父母と高齢者のための世界祈願日
教皇メッセージより)

19日のミサには16名参加されました。
来られなかった方も、お元気なお声をいただきました。
これからもお元気で、共に歩んでください！

お知らせ

9月5日に予定されていた教会委員会は、ミサがありませんでしたので開催されませんでした。が、当日、神父様と役員で「ミサ再開について」、「新型コロナウイルス感染症対策について」話し合いをいたしました。

その結果をお知らせします。

- ・教会の祭壇が狭いので、暫く侍者、聖体奉仕者の参加は中止する。
- ・聖体拝領の前に、信徒も手のアルコール消毒をする。（係が前に立ち消毒する）
- ・信徒館でミサに与っている人たちは、聖堂に来て行列に加わってもらう。
- ・「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」は、各個人用として配布するので、ミサ毎持ち帰り使用する。
- ・「すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り」「ニケア・コンスタンチノーブル信条」は、パウチして使用後は、アルコール除菌で拭く。
- ・10月4日まで「すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り」を唱える。（「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」に変えて。
- ・自分が使用した「聖書と典礼」は持ち帰る。
- ・使用した外国語のミサガイドは、ミサ後、消毒して棚に戻す。
- ・「許しの秘跡」は、告解部屋の使用を中止して、香部屋で行う。
- ・ミサを再開するにあたり、司祭の入堂退堂は香部屋から行わず、玄関から行う。
- ・その他として教会の予算作成時期にあたり、本年の現状報告が財務の方から行われた。

教会記録

◎洗礼 8月3日 おめでとうございます。

マリア 小野 滋子さん

◎転出 東京大司教区 麴町教会へ どうぞお元気で。

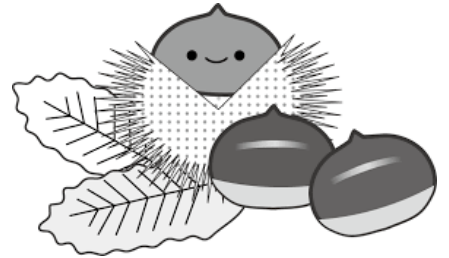
マリア テクラ 田村（旧姓遠藤）すみれさん



10月1日（金）は富士吉田教会の守護聖人
聖テレジア（幼いイエスの）おとめ教会博士の
お祝い日です。

10時半からミサあります。

こ よ み



2021年10月

1日（金）初金曜日ロザリオ10：00 ミサ10：30

聖テレジア（幼いイエスの）おとめ教会博士

3日（日）年間第27主日 ミサ9：30

（聖堂掃除は吉田地区・河口湖地区）

10日（日）年間第28主日 子供と共に捧げるミサ9：30 **教会委員会**

17日（日）年間第29主日 ミサ9：30 大掃除（ワックス）

山梨地区役員会（甲府教会）14：00

18日（月）聖ルカ福音記者（祝日）

24日（日）年間第30主日 世界宣教の日（献金）ミサ9：30

第3回山梨共同宣教司牧委員会（甲府教会）14：00

（聖堂掃除は吉田地区）

28日（木）聖シモン 聖ユダ使徒（祝日）

31日（日）年間第31主日 ミサ9：30 （聖堂掃除は有志）

イタリア語教室 月曜10時 4日・18日・25日

日曜学校 ミサ後 10日・17日・24日・31日

11月

1日（月）諸聖人（祭日）

2日（火）死者の日

5日（金）初金曜日ロザリオ10：00 ミサ10：30

7日（日）年間第32主日 ミサ9：30 教会委員会

新型コロナウイルス感染拡大の状況で、変更の可能性があります。

変更の際は、「教会の連絡網」での連絡及びホームページに掲載いたします

10月のミサ奉仕

日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	検温
3	東海林義夫			福永好雄	宮本禮子	志村
10	大野 隆			小山田匡宏	曾根美香	江守
17	江守香代子			志村好直	相沢千代子	東海林
24	東海林美佐子			宮本二郎	小松二三子	宮本
31	東海林義夫			渡辺幹雄	江守香代子	志村